

あけふ

題字は、厚沢部町認定こども園 たきかわ 滝川 らいく 愛空さん です。

議会報告会を開催

令和7年1月27日・31日・2月3日の3日間、
町内3地区(館・鶉・下)で議会報告会を開催
しました。

町民向けの議会報告会は今回で11回目となり、3会場で42名の出席がありました。冒頭、鈴木議長が開会の挨拶をした後、議員定数等調査特別委員会が実施した調査について報告を行いました。その後、議会や町に対する意見・要望がありましたので、その要点をお知らせします。

地区館 1月27日 館地域 振興センター

●なぜ議員のなり手不足なのか。

報酬の問題だけではなく、奉仕の精神をもって議員をやるうとする人がほとんどいないです。
(鈴木議長)

●議員報酬の規定はあるのか。

いくらにしないかという決まりはありませんが、人口が同じくらいの町、あるいは近隣町と釣り合いがとれるように決めている状況です。
(鈴木議長)

●国保病院の経営は、今年度も一般会計からの補填が必要なのか。

病院の運営に関しては、終末期ケアの方が多くなっている今の環境では収益改善は厳しいと思います。
(高田議員)

交付税が半分くらいに減ったため、町の持ち出しも一向に減らないと説明を受けています。
(鈴木議長)

●国保病院でインフルエンザやコロナになったら外来が受付しないという話や、血液検査をやってくれないという話を聞いたが、それは本当か。

インフルエンザもコロナも検査はやっています。ただ、隔離された場所で検査をするので、たまたま場所や人員などの環境が整っていないかったタイミングはあるかもしれませんが。

血液検査は、担当していた先生が辞めた時は検査できませんでしたが、今は新しい先生が来ていますので検査はできます。
(高田議員)

●国営相和地区事業負担金の滞納状況は。

7件で約1億2千万円あります。完納までいくのは厳しいというところが見えてきています。
(鈴木議長)

※令和7年3月末現在、1件が不納欠損となったため、6件で約7千2百万円になりました。

●スマート農業支援事業は来年もやるのか。

来年もやってくださいと、町長にお願いしています。

●館駐在所がなくなるという話があるが、議会としてどのように対応してくれるのか。

町内会連絡協議会を通じて警察署に要望書を出します。

それからの話し合いになりますが、小学校が続く間は駐在所を置いて欲しいという要望を持っています。
(山田議員)

●脱炭素先行地域に選ばれたが、その事業にどれくらいの予算を組んでいるのか。

総事業費が約50億円、国からの交付金が4分の3まで出るといって説明を受けています。
(香川議員)

●農業も脱炭素に付随できると思うので、町へ意見してもらいたい。

脱炭素に付随した事業として、農業振興、農業施策を組み入れる予定だと説明を受けています。
(香川議員)

●農業残渣を発電に活用できないか。

過去に中山議員がその件を質問していますが、厚沢部町の農業残渣だけでは発電できるだけの容量が足りないという回答でした。(香川議員)

●道の駅と緑町コミュニティセンター建て替えの構想は。

令和7年度に新たなコミュニティセンターを建設し、既存のコミュニティセンターを物産センターの店舗にします。新しい物産センターは令和8年の秋頃に完成予定です。(香川議員)

●箱物を建てると後から修理費がかなりかかってくる。人口が減り、交付金も基金も減ってくることも考えた規模の事業を、議員にも考えてほしいと思っている。

●素敵な過疎づくり株式会社
の運営状況は議員に報告されているのか。

産業厚生常任委員会で運営状況を見させてもらいました。結果としては、ハマナスクラブの経営を含め、順調な推移をしています。(高田議員)

●道の駅を建て替える理由は。

一番の理由は、農産品の販売スペースが狭くなっているからです。老朽化や耐震の面からこれ以上広げることが難しく、新しく建てることになりました。(高田議員)

●売り場を広げるのは農家の要望か。農産品がほとんどない冬のことを考えていかないと、ただ広げるだけでは意味がない。

富栄や赤沼町などの小さな農家は、道の駅に出すことで助かっています。冬のことを考えて、子ども達が遊べるスペースを作り、それによって集客につなげる構想を町は考えています。(鈴木議長)

●指定管理団体の経営状況を議員は報告を受けているのか。

必ず町から報告書が提出されます。(鈴木議長)

●そついうのも広報などで町民にわかりやすく発信してほしい。指定管理している建物だつて設備投資をしなければ

ならない。将来を考えて新しいものも慎重に検討してほしい。



鶏地区 1月31日 鶏地区多目的 研修センター

●1月23日付けの新聞記事にある発言をした議員本人に確認したのか。

議員全体の問題ということ
で、本人確認はしていません。
(鈴木議長)

●犯人捜しをしるというわけ
でなく、本人に確認しないで
謝るのはおかしい。誰も言っ
ていないのであれば、記者に
抗議するべきでないか。

最終的に特定の人物に集中
する可能性があるのでは、議員
全員で発言を謝ります。
(鈴木議長)

●私は議員定数の削減は反対。
何の意味で減らすのか。

私は人口に対して定数が多
いのではないかと思っていま
す。
(小野寺議員)

●農業世帯が減ってきている。
農業の将来についてどんな議

論をしているのか。

後継者対策など、町として
いろんなことをやってきてい
ます。そういう政策を見て、
協議しています。(山田議員)

●人口減少対策についてどう
思うか。

何らかの政策で隣町から人
が入ってくるということは、
根本的な解決にならないと思
います。都会から人が入って
くるような政策を考えなければ
と思います。(高田議員)

●報酬を上げたいというのは
私利私欲ではないか。

私利私欲で上げたいという
ことは一切ありません。議員
のなり手が心配ない体制に近
づけるという意味も込めて、
議会でこういう結論を出しま
した。
(佐々木副議長)

●道の駅は建て替えの方向で
進んでいると思うが、計画性
がない。トイレと物産館、商
業施設が離れていて、動線に
は屋根もない。もう少しきち
んと考えて計画を練ってもら

いたい。

●映像空間は今後どういう方向に持っていくよう考えているのか。

好きなタイミングで映像を見られる仕組みにできないかということ町に言っています。今後の対策については、我々も良いアイデアを模索しています。
(鈴木議長)

●共和地区に豚舎建設の話があるが、町は補助金を出すのか。

補助金は必要としないようです。
(鈴木議長)

●補正予算案や新年度予算案を、議員に示された時点で町民も見せてもらうことはできるか。気になった部分の質問を議員に託したい。

議会に出る前のものだから役場も一般の方にそのまま見せるとは思えません。

(高田議員)



下地区
2月3日 町民
交流センター
あゆみ

●道の駅をせっかく建て替えるのであれば、家族連れ、子供たちにとっても魅力的な場所にしていきたい。

町からも家族連れが来てもらえるような施設を目指していると伺っています。

(香川議員)

●道の駅で売っている農産物を、農協の施設などに貯蔵しながら継続的に出荷する工夫はできないか。

道の駅のために用意しても、売れ残れば個人の在庫となるという可能性があります。

(小野寺議員)

出店している皆さんが話し合って工夫すれば、できる可能性はあると思います。

(佐々木副議長)

●道の駅の建て替えは、町民が心から望んでいるのか疑問が湧く。議員が責任をもって

町のシンボルになると言えるのか聞きたい。

現在の道の駅ができてから30年以上経ち、修繕などのコストを考えても建て替えた方がいいのではとなりました。民間活力が先細りになってきているので、道の駅で厚沢部町をアピールするのがいいのではないかと思います。

(鈴木議長)

●公営塾は、現在どのような形態なのか。

一般に言う受験対策という塾ではなく、生徒自身が学びたいことに対して先生がアドバイスを送るというやり方だと説明を受けました。

(高田議員)

●インターネットで議会が見られるようになったのはすごく良いことだと思う。反響などはあったか。

これまで議会を見たことない人が見られるようになり、議員も頑張っているんだねという声も聞こえてきました。少なくとも悪い印象では

なかったと感じます。

(高田議員)

●スマート農業の補助を受けたが、ICTを使った人も使わなかった人も同額の補助だった。来年度はICTを使った人の上限額を増やすなどをしてほしい。

今回は1回目ということもあり、小さい農家にもあたえるようにするという判断でした。来年度も継続し、改善するよう提言します。(小野寺議員)

●字鴉と清和の交差点は歩行者信号がなく、赤信号に変わる予測が立たず怖い思いをする。町から歩行者信号をつけるようお願いしてもらえないか。

私も同じように思っていて、警察に信号機をつけるよう話をしましたが、予算の都合で難しいようです。歩行者信号機の設置について、再度動いていきたいと思っています。

(高田議員)

●健康診断・がん検診無償化の施策には感謝している。健康診断の受診率が上がっていると聞いた。

人口が減っていく中で、町民の健康を第一に考えるという町長の考えで、この事業を進めたわけです。(鈴木議長)

●公営塾立ち上げの際の説明では、大手学習塾に委託するという話しだったと思うが。

そのようなことはありません。(高田議員)

●公営でやるのではなく、町から補助金を出して民間の塾にお願いした方がいいのでは。

厚沢部町に民間の塾が来るのは、環境的に難しいと思います。(高田議員)

●「議会モニター制度」と「議会のデジタル化」とはどのようなものか。

モニター制度は、議会運営等に関して町民から意見をもらい、反映させることで、民主的な運営を推進する制度で

す。全道的にも導入が少なく、良い制度とするためにはもう少し調査、研究が必要と判断し、今回は断念しました。

(佐々木副議長)

デジタル化は、議案や予算書、過去の議会内容などをデータ化し、それを全てタブレットで確認できるようにします。ただ、タブレットの導入費、維持費の点から今回は断念しました。(香川議員)

●インターネット配信を始めてみての感想は。

第三者として自分の話している姿を見ると悪い点が見えてくるので、一人の議員として資質向上に繋がっていると思います。(香川議員)

議員を目指す若い世代に取り組む姿勢を見せることは大事なことで、身が引き締まる思いでこれからも頑張りたいと思います。

(山田議員)

●委員会活動や協議会をオンライン参加できるようにしないのか。

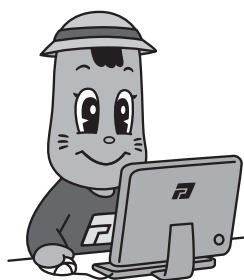
環境整備が必要ですし、それをするくらいなら集まって話したほうが早いと思っていますので、現段階では必要ないと思っています。

(鈴木議長)

●年度をまたいだ事業をやるときに、最終的に何にいくらかかったかなど、事業の全体をまとめてほしい。

広報に載せるよう、町長に提言します。(鈴木議長)

●以前、議会報告会をやっている町は少ないと聞いたときに、厚沢部町は前向きな町だと思った。他の町がやっている、やっていないを指針にするのではなく、厚沢部町の独自性を大事にしていた方がいい。



ご参加いただき
ありがとうございます
ございました

□議会広報編集特別委員会
委員長 香川 直樹
副委員長 山田 克哉
委員 小野寺 孔